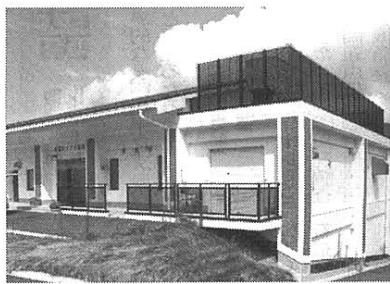
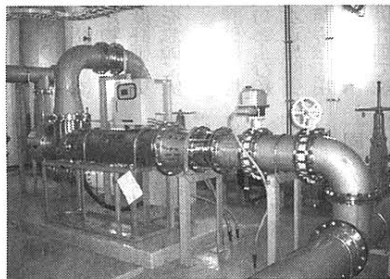


多様な連携や新たな事

～特集・日本の水道の持続的発展へ



上下水道課の事務所がある森浄水場



紫外線照射で8,700ml/日を処理

香美（かみ）町は兵庫
県北部に位置し、平成17
年4月に3町（香住町・
村岡町・美方町）が合併
して誕生した。今年7月
1日現在で人口約2万
人、面積約370平方キ
ロメートル。同町の水
道事業は上下水道事業1カ
所、簡易水道事業など24
カ所。北部の香住地区は
伏流水、南部の村岡・小
代地区は河川表流水を主
水源としている。下水道
事業は公共下水道など
21処理区、合併浄化槽
4地区を処理している。



岸本課長

兵庫県香美町

取材
レポート

「森浄水場は、8700立方メートルの処理能力を有し、クリフトスボリシウム対策などを図るため、紫外線照射装置を備えています。同浄水場内には上下水道課の事務所も移転し、昨年11月から供用しています。同町が採用した監視方法は、パソコンや携帯端末により、施設の運転状況を把握することができ、状況などがいつでも、どこでも、容易に把握でき、併せて今後のコスト面での有利性にもつながるとしています。」

遠隔監視で効率的な管理

一元管理へ携帯端末など活用

「一元管理へ携帯端末など活用」を開始しています（岸本課長）。
ただ、事務所の移転に伴い、従来の中央監視装置が使用できなくなるとともに、合併で施設が広範囲に点在する一方、町内全域を一元化する監視方法などが課題となっていました。
岸本課長は「移動時間も長くかかり、積雪時などには点検そのものが困難になることもありま

一方、同町など3市2町で構成する但馬上下水道事業協議会は、広域的な研修会として、「水道セミナーin香美」を今年3月、同町内で開催。「行政改革時代の水道事業」をテーマに、事例発表「上下水道管理システム更新による一元管理・エリア管理の両立」ウエブによる上下水道監視へ」などが行われた。
今後の目標・課題などについて、岸本課長は「水道施設の多くは昭和50年代に整備されたもので、いずれ更新の時代を迎えることとなります。今後はアセットマネジメントなどについて、検討を進める必要があります。また、当町では、し尿と汚水を共同処理する『汚水処理施設共同整備事業（MICS）』を検討している。一方、当町など1市2町で構成する北但行政事務組合で、ごみ処理と合わせて下水汚泥の共同処理が計画されており、これへの対応も行っていく予定です」と語る。



施設の運転状況を容易に把握

エナテクス

ひろがるひとの和 エナテクス

人と社会、社会と自然、自然とエネルギー。
みんなつながれば、明るい未来、いいね！

◎ ENATEXとは？

遠隔監視事業
監視システムで安心安全

情報伝達事業
情報はハイブリットで提供

太陽光発電事業
メガソーラー・小規模発電所

エナテクスグループ

(株) エナテクス
(株) エナテクスサービス
(株) エナテクスソーラー

住所：(本店) 〒682-0016 鳥取県倉吉市海田西町 2-37
TEL：0858-28-1111 FAX：0858-26-3989
http://www.enatec.co.jp